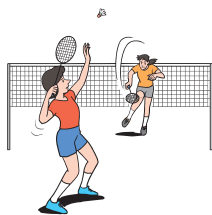




宇南らしく



宇南らしさの再構築！

PTA会長 上野 勝弘

昨今は社会環境が日々厳しくなるとともに、面白い話題も少なくなり、そんな影響もあるのか、企業や組織の元氣も失われている感があります。何年も続いていた歴史ある企業や組織が、内外ともに信頼関係が薄れ、衰退してきているのです。その原因は何なのか？私は「〇〇らしさ」が失われてきているからではないかと思えます。

そして、時代の変遷とともに、情報の伝達方法も活字から携帯電話やメール・Twitter・Face bookが当たり前みたいになり、常識化し、情報のスピードも画期的

に早くなりました。しかしながら、それと同時に、人と人との距離感は直接的なコミュニケーション不足もあり、世の中に不信感や誤解の連鎖が広がってしまったのかもしれない。

もしかして、今の世の中は便利さと引き換えに、何年もかけて少しずつ築きあげてきた「信頼」や「絆」が薄れてきてしまっているのではないのでしょうか？そんな今だからこそ、企業・組織・人など、それぞれの視点で、あらためて存在意義（レゾナント）を明確にすることが重要であり、そうすべきなのではないでしょうか。いま、あらためて思うことは、当たり前のことなのですが「コミュニ

ケーションが重要」だということであり、それを成すのは「人」しかあり得ないのだということ

です。世界一の自立式電波塔である東京スカイツリーが開業した今年、創立36年目を迎えた宇都宮南高校は、あえて創始の精神を再検証し、生徒・教職員・保護者・同窓会・白鷺会・地域などの「人」が「人」となると築き上げてきた宇南の魅力を前面に出して、次のステップへと連携を深めつつ、積極的な切り口で動き出さなくてはなりません。50年目、そして100年目に向けて、すべての場面で徹底して「宇南らしさ」を意識して活動するべきなのです。

特色化元年

校長 菊地 透

宇都宮南高校PTAのみならず、こんにちは。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。さて、本校は最初の入学生を迎えてから既に35年を経て、この間に1万1千名を超える卒業生が本校から輩出して、社会の様々な分野で活躍しています。

また、昭和61年の甲子園、春の選抜大会で準優勝を成し遂げた際には、選手の戦いぶりや応援の様子から「さわやか宇南」の愛称が冠せられ、以来教職員や生徒、保護者の皆様の弛みない実践により、この愛称は広く定着し良き伝統ともなっています。しかし、この35年の間には、例えば価値観の多様化や国際化

の進展、情報機器の発達や経済雇用の在り方など、社会は加速度的に変化してきましたし、今も変わり続けています。先行きが不透明で自立するのが難しい社会になったと言人もいます。一方では、実力のある者にとってはチャンスが大きく広がったと解釈もできます。

いづれにしても、社会と関わりながら自立するための力を、高校生という発達段階に応じてしっかりと身に付けてほしいとの思いを一層強くしています。そのために、今年度は次のようなことを柱とした教育活動の重点化、学校の特色づくりに取り組めます。

まず、これまでの教育目標の「篤学・進取・自律・敬愛」を校訓とすることとし、社会的な自立という観点から新たな教育

目標を具体化しました。また、学校の様々な活動ごとに目標を定め、そこで育てたい生徒像を明確化しながら教育活動を進めていこうと考えています。このために、今年度の学校の努力点のひとつを「具体的な目標に準拠した教育活動の実践」としました。

さらに、目指す学校像を「志をはぐくみ自立する力を育てる文武一致の教育を実践する学校」と規定しました。「文武一致」は、あまり一般化していませんが、あまり「知・徳・体」のバランスの取れた総合的な人間力を高めるための学校を目指したいと考えています。加えて、今、教育を語る上でキーワードともなっている「学力」。宇都宮南高校として生徒に身に付けさせたい学力について、また、

ご縁あって宇南に関わらせていただいている我々の責務として、各々が出来る範囲でちよつとだけ無理をしながら、今まで以上にコミュニケーションを密にし、宇南の存在意義を明確にすると同時に、継続的に次代へ引き継げる「宇南らしさ」を模索・発信していきますので、「チーム宇南」の一員として、「宇南らしさ」の構築と一緒に楽しみながら頑張りましょう！引き続き、よろしくお願ひします。

教育活動の一層の活性化を図るための教員指標なども新たに策定し、これらを本校のホームページに載せてあります。

「学校と家庭、教職員と保護者はチームメイト」。昨年度から、PTAの様々な場をお借りしてお話してきました。学校が果たす役割、家庭でしかできない役割を、それぞれが果たしながら補完しあい力を合わせて進んで行くことにより、目指す生徒の育成は達成されるものと考えています。折しも今年度は辰年、勢いの年です。是非、ホームページを御覧の上、本校の特色化について御理解をいただき、自分の力で未来を切り拓いて行くことのできる生徒を共に育むため、御協力をお願いいたします。